

2018年原子力エネルギーマネジメントスクール
日本人研修生の選考について

(1) 選考の考え方

- 募集人数20名を超えない場合、募集時の以下要件を満たしていれば、研修生として認める。
 - ー将来の原子力界で活躍が期待される若手(40歳未満)の研究者、技術者、広報担当者、行政関係者、規制関係者など。3年以上の職務経験を持ち、学士相当あるいは学士以上の学位を持つ者。
 - ー英語に関しては、TOEIC690点、TOFEL530点、英検準1級相当以上の英語力。
- 選考に当たっては、研修生の所属機関の多様性(所属機関・性別等)を重視。

(2) 選考基準

- ① 多様性の観点から、これまでに参加実績のない機関からの応募者を優先。また、応募者多数の場合、同じ機関から2名以上応募の時には、1名に絞ることもある。
- ② 本スクールの経験が、応募者の業務に活かせるか。
- ③ 英語力(TOEICやTOFEL等のスコア)が高い人を優先。

以上